

## 第6章 計画の推進にあたって

日々刻々と変化する観光を取り巻く現状の動きを敏感に察知しながら、将来を見据えた実効性のある観光施策を展開するためには、行政や個人、地域団体、NPO、企業等がお互いの役割分担を明確にしたうえで一体となり、各事業に取り組むことが必要となります。

### 第1節 共通認識と情報共有の確立

観光施策を効果的かつ円滑に推進するためには、官民一体となった取り組みが必要であることから、観光の目的や方向性を関係者全員で共通認識を図ることが重要です。

また、日々刻々と変化する観光の現状に対し、様々な機会の活用や情報を共有することで時代のニーズに沿った施策の展開が図られるとともに、直面する課題への対応も迅速なものとなります。



特産品の開発・販売



伝統文化の継承 三作神楽



旅行商品造成のためのプロモーション

## 第2節 役割分担の明確化

### (1)市の役割 観光振興に関する施策の推進

- ・戦略的な情報発信
- ・県外観光客誘致に向けた県をはじめとする関係市町との連携及び調整
- ・(一財)周南観光コンベンション協会をはじめとした民間団体との連携
- ・民間事業者が起業しやすい官民協働による創業支援の体制づくり
- ・国、県、他の自治体との連携
- ・観光施設のハード面の整備
- ・全庁的な観光振興の推進

### (2)市民の役割 観光施策への積極的な参画

- ・地域づくり活動への参加
- ・地域内外における連携
- ・地域の自然、歴史文化、伝統行事等の保存及び継承
- ・地域の魅力の情報発信
- ・観光客に対するおもてなしの心での交流

### (3)民間の役割 観光分野における新規事業の創出

- ・観光産業への積極的な参入による新規ビジネスの構築
- ・行政及び市民との連携
- ・市を代表する「食」「土産品」「特産品」の開発
- ・様々な業種とのネットワークづくり
- ・観光客に対する接遇マナーの向上
- ・教育機関との連携

### 第3節 共創による観光振興の推進

本ビジョンに掲げる施策や諸事業を推進していくためには、第2次周南市まちづくり総合計画における、市民と共に創る「共創のまちづくり」の考えに基づき、産学官の連携や市民の参画、及び広域連携を着実に実施していくことが重要です。

また、観光分野における目指すべきまちの姿「人と自然と産業が輝きを魅せる賑わいあふれるおもてなしのまち周南市」の実現に向けて、人と人との絆を大切にしたい体制づくりや、本市の豊かな自然や観光資源を活かした観光振興策を展開していかなければなりません。

そのためにも、市民・民間・行政がしっかりとした共通理解のもと、自らの役割を認識し、お互いに連携を図りながら観光振興やコンベンションの積極的な事業展開を図る必要があります。



サンフェスタしんなんよう もみ太鼓



旅づくり塾 観光関係者での旅行商品づくり



須金梨・ぶどう フォトコンテスト受賞作品